

平成28年熊本地震におけるTEC-FORCEの活動

- 地震発生後、直ちに被災自治体にリエゾンを派遣するとともに、前震直後の15日には九州のほか、近畿、中国、四国地方整備局のTEC-FORCEが九州へ入り活動を開始。これまでに北海道から沖縄までの全国の地方整備局等から8千人を超える隊員を17市町村に派遣し、被災自治体の支援を実施。
- リエゾンが収集した被災状況・支援ニーズの情報をもとに、自治体所管施設の被害状況調査の代行を迅速に実施。航空写真による被害判読等とあわせ、激甚災害指定にかかる所要期間の短縮に貢献。
- 余震や降雨に伴う二次災害の発生を防ぐため、緊急度の高い1,155箇所の土砂災害危険箇所を9日間で点検し、4月28日に県知事、13市町村長等へ報告。
- 道路陥没や土砂崩落等によって通行不能となった県、市町村道の応急復旧を行い、熊本市内から南阿蘇方面への輸送路の啓開など、支援物資等の輸送路確保を迅速に実施。
- 二次災害が懸念される箇所については、地方整備局が保有する無人バックホウによる土砂撤去を実施するなど、先端的な災害対策機器を駆使した活動を展開。

➢ TEC-FORCE等： のべ8,134人・日派遣（4月15日～5月13日、速報値） ➢ リエゾン： のべ1,488人・日派遣（4月14日～5月13日、速報値）

自治体所管施設の被害状況調査の代行



道路施設の被害状況調査(益城町)

土砂災害危険箇所の点検



ドローン調査

土石流危険溪流の点検(阿蘇市)

道路啓開による輸送路の確保



道路啓開状況

南阿蘇方面への輸送ルートを確保
(グリーンロード南阿蘇)



甲佐町長へ被害状況調査結果を報告



熊本県知事への報告

先端的な災害対策機械を駆使した活動

無人バックホウで土砂撤去を実施(南阿蘇村)



消防庁への技術的助言

全国の地方整備局等から派遣されたTEC-FORCE隊員は、被災自治体に派遣された国土交通省リエゾンが収集した被災状況・支援ニーズの情報をもとに、**自治体所管施設の被害状況調査の代行を迅速に実施**。

さらに、調査結果を被災自治体に対してわかりやすく解説・助言を行うことで、その後の迅速な災害復旧に貢献。

【参考】TEC-FORCE等のべ8,134人・日派遣 (4月15日～5月13日、速報値)

被災状況・支援ニーズの把握



■阿蘇市長

自治体施設の被害状況調査の代行



■益城町

被害の概略報告・助言



■熊本市



■南阿蘇村長



■阿蘇市



■西原村

全国の地方整備局等から派遣されたTEC-FORCE隊員は、発災直後から現地入りし、道路陥没等によって通行不能となった県、市町村管理の道路の被災状況調査と応急復旧を行い、**孤立の解消や支援物資等の輸送路を確保**。

【参考】TEC-FORCE等のべ8,134人・日派遣（4月15日～5月13日、速報値）

被災状況の把握



■国道443号(益城町)

応急復旧(道路啓開)



■国道443号(益城町)

緊急輸送路の確保



■益城町の緊急物資輸送路を確保



■グリーンロード南阿蘇



■グリーンロード南阿蘇



■熊本～南阿蘇方面の東西軸を確保

全国の地方整備局等から派遣されたTEC-FORCE隊員は、余震や降雨に伴う二次災害の発生を防ぐため、**緊急度の高い1,155箇所の土砂災害危険箇所の点検**を実施し、県知事及び首長に報告。

【参考】TEC-FORCE等のべ8,134人・日派遣（4月15日～5月13日、速報値）

上空から被害箇所を把握



■ UAVによる調査

土砂災害危険箇所の点検



■ 現地調査

点検結果の報告・助言



■ 熊本県知事



■ 南阿蘇村長